

「規律ある態度の育成を通した、
生徒主体の笑顔が輝く学校づくり」
～小・中が連携して、
自律する生徒の育成を図るために～
滑川町立滑川中学校

1 学校の状況

本校は、創立52年目、新校舎が建設されて5年目の学校である。

◇学級数・生徒数

	学級数	生徒数
1学年	4学級	150名
2学年	5学級	160名
3学年	4学級	132名
特別支援学級	2学級	8名
合計	15学級	450名

今後、生徒数の増加が見込まれ、現在の段階では平成30年にピークとなることが予測されている。

2 課題

教育に関する3つの達成目標「規律ある態度の育成」アンケート結果から以下の項目が課題であると考えられる。

- (1) 項目1 時を守る②授業開始時刻
- (2) 項目2 身の回りの整理整頓をする④整理整頓
- (3) 項目5 学習のきまりを守る⑨学習の準備
- (4) 項目6 生活のきまりを守る⑫清掃・美化活動

3 課題解決のための方針

規律ある態度を育成することは、学校における生徒の学習活動の基盤となる重要な事項であると考え、次の3点を重点として取り組むこととした。

- (1) けじめのある生活ができるようにする。
 - ・時刻を守ることができる。
 - ・身の回りの整理整頓ができる。
- (2) 礼儀正しく人と接することができるようにする。
 - ・進んであいさつや返事をする。

・丁寧な言葉遣いを身につける。

- (3) 約束やきまりを守ることができるようにする。

・学習のきまりを守る。

・生活のきまりを守る。

4 取組の概要

- (1) 3年目となるノーチャイム制を継続し、教師主導ではなく、生徒会本部と専門委員会が連携して、生徒が主体となった取組（時を守る活動）を実施する。
- (2) 1年間取り組んだ結果、授業の開始は生徒同士の声かけ等も見られ、一人一人の生徒が非常に高い意識を持つことができ、「時刻を守る②授業開始時刻」の項目では、97%の生徒が当てはまると回答した。

5 具体的な取組

- (1) 時間を守って生活するための活動

ア、ノーチャイムによる学校生活のリズムづくり

イ、朝読書・朝学習による学習準備の推進



ウ、自主的な行動による下校時刻等の厳守



- (2) 身の回りを整理整頓し、学習に取りかかりやすくするための活動

- ア、自転車置き場・下駄箱・机やロッカーの中の整理・整頓



- イ、清掃活動への取組の推進

- (3) 自分から進んで、元気にあいさつや返事ができるようにするための活動

- ア、自分から進んで挨拶することにより、好ましい人間関係や素直で明るい心の育成



- イ、礼儀正しい態度により、相手への思いやりの心・尊重する心・感謝の心の育成

- (4) 時と場に応じた丁寧な言葉づかいができるための活動

- ア、相手を思いやる心や感謝の心、好ましい人間関係の育成

- イ、相手に対して礼儀正しい言葉づかいの徹底

- (5) 積極的な姿勢で授業に臨み、落ち着いて取り組むことができるための活動

- ア、学習の準備を授業に臨む積極的な姿勢

- イ、授業後のきちんとした後片付けの徹底

- (6) 生徒会活動・部活動の充実により、自主的な取り組みができるようになるための活動

- ア、相手を意識し、生活できる心の育成

- イ、相手を尊重する心、思いやりの心の育成

- ウ、共に学ぼうとする心、集中力の育成



- (7) 小中の連携

- ア、Jプラン教員、生徒指導対応教諭を活用し、小中間での情報共有化を図るとともに、中1ギャップの解消の推進



- イ、小中合同3つの達成目標「規律ある態度」部会での小中統一した指導目標の設定

6 取組の成果と課題

【成果】

- ・基本的な生活習慣の確立（時を守る、授業・給食・清掃の始まりの時間等）に関するものについては、一定の成果があった。
- ・各授業等の取組により、話をしっかり聞けるようになってきており、保護者からも、「集会での話を聞く姿勢が良くなった。」という意見が多かった。

【課題】

- ・時間を守るためにノーチャイムを実施し、意識・行動の向上がみられたが。今後、さらに様々な場面で先を見通して自主的に行動できる生徒の育成を目指していく。